



本日の参加者

2018年4月14日(土)

第3回閣僚級世界患者安全サミット



開会・大臣挨拶



加藤勝信
厚生労働大臣 日本

専門家から閣僚級へのメッセージ

座長



鈴木 康裕
厚生労働省 医務技監



小泉 俊三
医療安全全国共同行動専務理事

パネルディスカッション1からのメッセージ
患者安全文化



ドナルド・バーウィック
医療の質改善協会 (IHI)、名誉会長、米国



クリス・パワー
カナダ患者安全研究所会長、カナダ

パネルディスカッション 2からのメッセージ
高齢社会における患者安全



長谷川 友紀
東邦大学教授



トマソ・ベランディ
トスカーナ州臨床リスクマネジメント及び患者安全センター副所長、イタリア

パネルディスカッション3からのメッセージ
中低所得国におけるUHC達成のための患者安全の必要性



ニーラム・ディングラ・クマール
WHO患者安全とリスクマネジメント部門
コーディネーター



ジェレミー・ヴェイヤード
世界銀行 政策アドバイザー

パネルディスカッション4からのメッセージ
ICTと患者安全



武田 裕
滋慶医療科学大学院大学 学長



エドワード・ケリー
WHO 医療サービスデリバリー・医療安全課 課長

パネルディスカッション5からのメッセージ
患者安全の経済



インゴ・ヘアテル
ドイツ連邦保健省
医療法制・患者の権利・患者安全課 課長

基調講演

座長



ビクター・ザウ
全米医学研究所所長、米国



山本 尚子
WHO事務局長補

講演者



ジェレミー・ハント
英国保健大臣



ルッツ・シュトロープ
ドイツ保健省事務次官



ビデオメッセージ
オバイド・アルサイディ
オマーン保健大臣

特別発言



アラン・ベルセ
スイス連邦大統領兼内務大臣

ラウンドテーブルセッション

モデレーター



佐原 康之
厚生労働省大臣官房審議官



エドワード・ケリー
WHO
医療サービスデリバリー・医療安全課課長

司会



池田千絵子
厚生労働省総括審議官

参加国(使節団)

※アルファベット順

| | |
|---------|----------|
| オーストラリア | ブルネイ |
| カンボジア | カナダ |
| クロアチア | チェコ |
| デンマーク | エクアドル |
| フィジー | フィンランド |
| フランス | ドイツ |
| ギリシャ | インド |
| インドネシア | イスラエル |
| 日本 | ケニア |
| クウェート | ラオス |
| ラトビア | リトアニア |
| ルクセンブルグ | メキシコ |
| モンゴル | ミャンマー |
| オランダ | ニュージーランド |
| オマーン | フィリピン |
| ポーランド | カタール |
| ロシア | スロバキア |
| サウジアラビア | 南アフリカ |
| スペイン | スリランカ |
| スイス | タイ |
| 英国 | タンザニア |
| 米国 | ベトナム |

国際機関

アジア開発銀行

国際協力機構 (JICA)

経済協力開発機構 (OECD)

WHO西太平洋地域事務局 (WPRO)

世界銀行

世界保健機関

招待機関

世界医師会

患者安全運動財団 (PSMF)

主催



共催



Medical Accident Investigation and Support Center
Japan Medical Safety Research Organization

医療事故調査・支援センター
一般社団法人日本医療安全調査機構



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

後援

